

夏休み大和っ子スポーツウィーク

1 わらい

運動する子とそうでない子の二極化が進む中、運動習慣をもたない子どもに多くの運動が経験できる機会として、夏休みに保護者とともに参加できるスポーツ教室等を、体力の向上はもちろん、親子のコミュニケーションを図ることを目的として開催しました。

2 主催

奈良県体力向上推進連絡会・奈良県教育委員会

3 内容

① 小学生フェンシング教室

・平成25年7月21日(日) 奈良県立奈良朱雀高等学校 体育館
・参加者数 62名(参加申し込み者数 132名)



県内18校62名の小学生を集め、奈良県フェンシング協会の指導者や北京・ロンドンオリンピック銀メダリストの太田雄貴選手をはじめ、日本のトップクラスの選手が子どもたちにフェンシングの楽しさを教えてくれました。教室では、基本的な構え、ステップや剣の使い方から、マスク、プロテクターを付けて対戦形式での練習など、子ども一人一人に熱心な指導が行われました。

② 小学生水泳教室

・平成25年7月25日(木)26日(金) 奈良県立添上高等学校室内プール
・参加者数 延べ116名



2日間にわたり県内の小学校4年生～6年生延べ116名が、水泳教室に参加しました。高体連水泳専門部教員及び部員の丁寧な指導の下、泳ぐことがあまり得意でない子どもたちも、泳法の習得や泳力のアップに取り組んでいました。開催中は、高校の水泳部員が付きっきりで声をかけながら補助をし、子どもたちが意欲的に取り組む姿と楽しそうな笑顔が多く見られました。

③ 小学生陸上競技記録会

・平成25年7月30日(火)・・・南部大会 31日(水)・・・北部大会 奈良県立橿原公苑陸上競技場
・参加者数
北部大会・・・61校 1,281名 南部大会・・・66校 2,161名 合計・・・127校 3,442名



今年で47回目を迎える奈良県小学生陸上記録会は、途中雨天による中断もありましたが、子どもたちは思う存分の力を出し切っていました。大会に向けて各学校では教員の指導の下、夏休み前から、スタートやバトンパスなどの練習を本番直前まで積み重ねてきました。応援席からは保護者や引率の教員から大きな声援が送られて、とても活気ある大会でした。記録証を受け取った子どもたちは笑顔で応援席に戻っていく姿が印象的でした。

④ 親子体操教室

- ・平成25年8月3日(土) 奈良県立橿原公園第1体育館
- ・参加者数 児童46名 保護者38名



奈良県体操協会や奈良県小学校体育研究会の指導者の丁寧な指導の下、親子で楽しめる体づくり運動や鉄棒、マット、跳び箱などの器械運動に、参加者全員が熱心に取り組む様子が見られました。最初は少し戸惑いを見せていた子どもたちも、教室が進むと技術も向上し、自分から進んで運動する姿が見られました。

⑤ 親子ソフトバレーボール教室

- ・平成25年8月4日(日) 奈良県立橿原公園第1体育館
- ・参加者数 児童26名 保護者22名



奈良県小学校バレーボール連盟の先生の丁寧な指導の下、親子で楽しめる体づくり運動や基本練習、試合に参加者全員が熱中して取り組んでいました。橿原、畝傍、桜井高校のバレーボール部員が声をかけながら一緒にボールを追いかけて、子どもたちの笑顔が絶えませんでした。

⑥ 学童水泳記録会

- ・平成25年8月7日(水) 天理プール
- ・参加者数 79校、938名



今年の奈良県学童水泳記録会は、79校938名の子どもたちが天理プールに集い開催されました。好天に恵まれ、子どもたちは日頃の練習の成果を思う存分発揮し、最後まで力強く泳いでいました。

どの種目においても熱戦が繰り広げられ、好記録が出ました。この大会に向けて各学校では教員の指導の下、夏休み前から本番直前まで練習を積み重ねてきました。

応援席からは保護者や引率の教員から大きな声援が送られて、とても活気ある大会でした。

4 まとめ

今年度、2回目となる「夏休み大和っ子スポーツウィーク」でしたが、合計4,690人の多数の参加を数え、大きなケガもなく無事に終了しました。

参加者から「親子で楽しく運動でき、参加して良かった」「この教室を通して、子どもに積極性が見られるようになった」「機会があれば、次も是非とも参加したい」などの声を頂きました。

奈良県教育委員会では、今後もこのような機会をきっかけにし、少しでも多くの奈良県の子どもが、運動好きになってくれればと考えています。